

グルージャ盛岡と連携した人権サッカー教室を開催しました。

平成29年10月22日（日）大槌町体育館において、岩手県人権啓発活動ネットワーク協議会主催の「人権サッカー教室」が開催され、大槌サッカークラブ・ジュニアの35人が参加しました。

グルージャ盛岡からは、トップチームから八角大智選手（#5）、田中憧選手（#17）、今関耕平選手（#18）、土館賢人選手（#25）の計4名が指導をしてくれました。

宮古人権擁護委員協議会による人権教室



最初に、人権擁護委員による人権教室が行われました。人権擁護委員の活動について紹介した後、困ったことがあればいつでも相談してくださいと締めくくりました。

開会式終了後みんなで集合写真を撮りました。



グルージャ盛岡の選手によるサッカー指導

当日は雨のため体育館で行われましたが、準備運動の後、鬼ごっこなどで体を動かして、最後はミニゲームを行い交流を深めていました。子どもたちは室内にもかかわらず、活発に動いていました。



グルージャ盛岡の3人の選手から人権メッセージを伝えてもらいました。



「障害を持った方々とグルージャ盛岡はたくさんの交流をしています。接して感じることは、私たちとは何も変わらないということです。しっかりと夢を持ち歩んでいます。街中で困っている場面に遭遇した場合は積極的に声をかけ、助け合っていきたいと考えております。生まれた環境や場所によって変わるものは何もありません。平等な心を持って生活しましょう。」（田中選手）

「私たちが所属しているJリーグにも数多くの外国人選手が在籍しています。言葉が分からなくても、思いやりの心を持って近づくことでコミュニケーションが十分に取れます。国籍が違うというだけで差別せず、ともに助け合って生活していきましょう。」（八角選手）

「私たちプロサッカーチームの中では、当然いじめというものは存在しません。お互いをリスペクトし、お互いを助け合うという精神のもと、日々サッカーに打ち込んでいます。みなさんもスポーツを通じて養った『リスペクト精神』『人を思いやる気持ち』を持ち続けて、いじめのない世界をともに作り上げていきましょう。」（土館選手）

最後に選手一人一人とハイタッチをして終了しました。



みなさん、お疲れ様でした。